

2010年7月6日

お客さま各位

セントラル短資FX株式会社
代表取締役社長 松本 一榮

2010年格付評価のご報告

セントラル短資FX株式会社（本社：東京都港区）は、本日（7月6日）付
けで株式会社日本格付研究所（以下JCR）から長期優先債務格付に関し「BBB
+/ネガティブ」の評価を得ましたのでご報告いたします。

(対象)	(格付)	(見通し)
長期優先債務	BBB+	ネガティブ

※格付けの概要につきましては、(株)日本格付研究所(JCR)のホームページをご参
照ください。<http://www.jcr.co.jp/>

外国為替証拠金取引は急成長を遂げてまいりましたが、業者間の競争の激化、
投資者保護を目的とした金融庁による規制強化、税制の有利性を強調する取引
所FXの攻勢などから、今後は一層厳しい事業環境が予想されます。そのような
状況において、当社は「企業の包括的な債務返済能力」を表す長期優先債務格
付において、2007年以降4年続けて債務履行の確実性が認められる「BBB+」
という高い格付を維持いたしました。

その理由としてJCRは、「預り証拠金残高などでみた事業基盤は業界で上位
クラスにある。リスク管理態勢の整備についても、顧客リスクの把握システム
をはじめとして、同業他社比進んでいる」ことを挙げています。ただ、業界の
先行きについてJCRは、規制の実施によって「FX取引の市場全体が縮小する可
能性があり」、「市況産業という性格と厳しい競合環境が、収益の変動性を高
める」ものとみており、こうした観点から「見通し」は昨年までの「安定的」
から「ネガティブ」に変わりました。

当社は、セントラル短資グループ企業としてインターバンク市場において培
ってきた高度の専門性や信用力を活かして、お客さまに最高のご満足をいただ
ける質の高い外国為替投資サービスをご提供することを経営理念としており
ます。今後予想される厳しい環境変化の下におきましても、当社は①取引利便
性の向上、②使いやすく強固なシステムのご提供、③信頼性の高いコーポレ
ートガバナンスの推進等を通じ、引き続きお客さま本位の健全なビジネスモデル
を推進してまいります。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

以上